

JECC 2021年度「第50回 優秀保守技術者表彰式典」を開催

JECCは10月11日、今年度で50回目を迎える「第50回 優秀保守技術者表彰式典」を開催した。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン上での開催となった。表彰式典は、お客様のコンピュータ・システムの安定稼働を維持するために、トラブルを未然に防ぐ予防保守活動をはじめ、万一故障があった場合、昼夜の区別なく、システム復旧のために努力している保守サービス技術者や、支援関係者の日頃の努力を称え、感謝するもの。

式典では、JECC桑田始社長挨拶の後、来賓の経済産業省 野原諭商務情報政策局長、一般社団法人 電子情報技術産業協会 長尾尚人専務理事がオンライン上で祝辞を述べた。続いて、保守サービス会社代表者挨拶の後、今年度の優秀保守技術者に選ばれた25グループ、標語・感想文の受賞者8名が表彰された。

桑田始社長の挨拶（要旨）

私どもJECCでは、毎年10月を「保守サービス向上月間」と定め、弊社賃貸資産の保守サービス状況を総点検すると共に、システムの安定稼働に日夜ご努力をいただいている保守技術者の方々の顕彰、保守サービス向上に関する標語及び感想文の優秀作品の表彰を行ってきております。また、本式典は今回で記念すべき50回目の節目を迎えることとなりました。50年前、当時の通商産業省の提唱により情報化週間の行事が開催されたことに伴い、弊社と国産メーカー6社もこの趣旨に全面的に賛同し、1972年10月18日に「第1回 優秀保守技術者表彰」が開催されました。昼夜を問わず、お客様のITインフラをお守りする皆様の保守サービス業務は、まさに社会にとって欠くことのできない仕事であり、今後、社会全体のデジタル化がますます加速していく中で、その重要性は増していくものと思っております。



桑田始社長

さて、今回のコロナ禍を契機として、ニューノーマルにおいて重要となるデジタルトランスフォーメーションやリモートワークの広がりを促進する技術が進化し、新しい価値やサービスが次々と生みだされてきています。

この様な中、弊社といたしまし

ても、本日ご列席の保守サービス各社様及び協力各社様、メーカー各社様と共にお客様との共創を通じ、お客様のデジタルトランスフォーメーションに貢献すべく、弊社がブランドスローガンとして掲げております「ITとファイナンスを、プロデュース。」を基に、ITとファイナンスを融合した、多様で先進的なサービスを通じ、戦略的なIT利活用の実現をプロデュースする企業として、お客様にご満足いただけるよう、尽力してまいります。皆様方の一層のご指導、ご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

経済産業省

野原諭商務情報政策局長の祝辞

本日は、栄えある「第50回 優秀保守技術者表彰式典」に祝辞を述べさせていただく機会をいただき、誠にありがとうございます。

1972年から続くこの「優秀保守技術者表彰式典」が、今年で記念すべき第50回を迎えることを心からお慶び申し上げます。

昨年から続く新型コロナウイルスとの闘いは、今なお厳しい状態が続いておりますが、一方でこのコロナ禍は、リモートワークやWeb会議のみならず、企業のビジネスモデルそのものを見直す大きな転換点となりました。我が国がこのピンチをチャンスに変え、社会全体のデジタルトランスフォーメーションを実現できるかどうか、今まさにその分水嶺にあると考えています。

先月、デジタル庁が発足しました。デジタル庁は、行政サービスはもとより、医療や教育などの暮らしのデジタル化を進める強力な推進力です。

経済・社会のデジタル化には、その中核となるデジタルインフラや企業における個々のシステムが、セキュアかつ安定的に稼働することが不可欠であることは論を俟ちません。つまり、保守技術者の皆様が果たされる役割は、今後、ますます重要になっていくこととなります。

「優秀保守技術者表彰式典」



経済産業省
野原諭
商務情報政策局長

は、こうしたデジタル社会にとって不可欠な技術者の研鑽を称えることで、日本のデジタル化に貢献してきました。日本社会を支える、保守サービスの向上に資するこの式典が今後とも末永く続くことを期待しております。

最後に、関係者の皆様のさらなるご発展と、本日も臨席の皆様のご健勝を祈念して私のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)

長尾尚人専務理事による綱川智会長の祝辞 (要旨)

第50回の記念となる優秀保守技術者表彰に際し、日頃からのたゆまぬ努力とご功績により「優秀保守技術者」として表彰を受けられた皆様、「保守サービス向上月間標語」並びに「保守サービスに関する感想文」に入賞者として表彰された皆様に、心よりお祝い申し上げます。



電子情報技術産業協会
長尾尚人専務理事

新型コロナウイルス感染症が人々の暮らしや働き方、グローバル経済に大きな影響を与えていることは言うまでもありませんが、「Withコロナ」「Afterコロナ」の中で社会課題解決のためには、デジタル化の加速、とりわけデジタルトランスフォーメーションを推進していくことが求めら

れます。その先にあるのが、これからの社会像である「Society 5.0」です。

私どもJEITAも、Society 5.0の実現に向けて幅広く取り組んでおりますが、主催している総合展「CEATEC」もそのうちの1つです。昨年に引き続き、今年もオンラインにて、来週より開幕となります。昨年は延べ15万人の方々にご来場いただきましたが、今年も「CEATEC - Toward Society 5.0 with the New Normal (ニューノーマル社会と共に歩むCEATEC)」をスローガンに掲げ、業種・業界を超えた共創の場として、開催します。CEATECがその象徴であるように、Society 5.0の実現に向けて、あらゆる社会課題の解決を目指し、これから、デジタル技術が社会でより広く活用されていくことになります。そして、それを支えるには日頃からの保守サービス、安全・確実な情報処理基盤の整備が不可欠であり、その重要性が増していくことは、申し上げるまでもありません。それは他ならぬ、皆様に対する社会からの期待です。

株式会社JECCの最新の保守状況調査結果によれば、システムの予防保守の満足度は、引き続き高い評価を得られていると伺っております。皆様が、日頃取り組まれている保守サービスの継続的な努力を通じ、我が国の情報技術の発展とSociety 5.0の実現により一層貢献されていかれることをご期待申し上げます。

PFU
a Fujitsu company

変わらぬ想い、変えてゆく未来。

株式会社 PFU <https://www.pfu.fujitsu.com/>

私たちの使命は、ICTの可能性を最大限引き出し、お客様と社会の発展に貢献し続けること。
「真摯でありたい」という変わらぬ想いを胸に、新たなチャレンジを続けます。
安心・安全で快適な社会の進化のために、お客様のために、一層の努力を続ける事をお約束します。